

# “知立駅周辺まちづくりシンポジウム”

## ～100年に一度のまちづくり～

### が開催されました

1月14日（土）、リリオ・コンサートホールで「知立駅周辺まちづくりシンポジウム」を開催し、120人程の皆さんに参加いただきました。

第一部では、基調講演として名古屋市立大学大学院教授の三上訓顯氏が『人が集うまちをつくるために』と題して講演され、知立市のまちづくりが目指していく方向性として「居住環境都市づくり」を掲げ、将来居住人口10万人を目指すことなどを提案していただきました。



第二部ではコーディネーターとして知立駅周辺のまちづくりに実績のある(株)連空間設計の今村敏雄氏を迎え、パネリストに知立駅周辺まちづくり研究会会長藤澤貞夫氏、知立市商工会女性部部長の毛受美佐子氏、第一部で講演された三上氏、そして知立市長を加えパネルディスカッションを行いました。藤澤氏には駅前再開発事業の当事者として、毛受氏は女性、商業者としての観点からまちづくりに対する考えを披露していただき、それに対して市長、三上氏が受け答えする形で議論が進められました。

その後会場からも質問が出るなど、市民の皆さんのまちづくりに対する関心の高さがうかがえました。

▶問合せ 都市開発課 鉄道高架係（内線432）

## 暮らしのQ&A

このコーナーは市民の皆さんからの市政に関するお問合せやよくあるご質問についての市からの回答をご紹介します。

**Q** 知立駅周辺の鉄道高架工事が完了するのはいつ頃ですか？

**A** 平成35年度には鉄道が高架化される計画になっています。

現在、愛知県が主体となって知立駅付近連続立体交差事業が進められています。これまで名古屋本線にかかる事業に必要な用地の確保、道路の付替え工事などを行っており、今後は仮線工事が本格的に進められます。そして平成35年度には名古屋本線・三河線計約4.3kmの鉄道が高架化される計画となっています。

▶問合せ 都市開発課 鉄道高架係（内線432）

